

こんにちは。白鷗へ書く報告書もこれが最後になりました。5月で学校が終わり、11ヶ月の留学も、あっという間に帰国が目の前に見えています。スーツケースのパッキングに追われながら、だんだんと帰国するということが現実味を帯びて感じられるようになってきました。また、先日野球のシーズンが始まり、野球を観戦しに行ってきました。実際に観るのは初めてだったので、行くことができてうれしかったです。満塁ホームランで逆転してから次で4点返され、負けてしまいましたがあくあいた試合でした。

5月にはメモリアルデイという祝日があり、ホストマザーのおばあちゃんの家へ行きました。ホストマザー側の家族が多く集まり、久しぶりに彼らに会えてとてもうれしかったです。ホストファミリーの家族と直接会えるのは、その週末で最後となってしまいましたが、湖を見に行ったり島の周りを歩いたり、色々なことをして過ごすことができました。メモリアルデイは、アメリカに軍人として仕えて亡くなられた方達を讃え、悼む日です。5月の最終月曜日に置かれるメモリアルデイでは、その前の週末と合わせてメモリアルウィークエンドとして三連休になります。アメリカの他の祝日、感謝祭やクリスマスなど、と同様に、家族が集まって過ごすことが多いそうです。

学校ではメモリアルウィークエンドの前週に卒業式がありました。シニア（最高学年）であるホストシスターも卒業しました。彼女の卒業のために、スペインから彼女の家族が来ていて、彼らと一緒に出かけたりバドミントンをして遊んだりしました。私やホストファミリーはスペイン語が分からないし、ホストシスターの家族も英語が分からなかったのも、コミュニケーションは大変な時もありました。しかし言語がわからなくても、翻訳機を使ったり、身振り手振りで意思疎通したり、意外と楽しめるなど改めて気づきました。

ホストシスターが私よりも一足先に帰国したり、ホストファミリーとの家族と会うのも最後になったり、10ヶ月通った学校の友達とももう一緒に学校に行けなかったり、5月は多くの人たちとさよならを言わないといけなくて、すごく寂しかったです。この留学期間を通して、色々な人と出会えて、一緒に色々なことができ本当に楽しかったし、その人たちのおかげで、留学が来てよかったと思えるものになりました。アメリカで過ごしたこの期間は、これからきっと大きな意味を持つし、私を支えてくれると思います。家族をはじめ、留学を助けてくれたたくさんの方々、本当にありがとうございました！この経験をここで終わりにせず、これからも頑張っていきます。

白鷗高校 16 期生 次世代リーダー育成道場第 11 期生 A・Y